

皮膚病診療 5月号(通巻第585号) 令和7年5月1日発行(毎月1回1日発行) [ISSN 0387-7531] Pract. Dermatol.

皮膚病診療

臨床医のための皮膚病総合雑誌 Vol.47 No.5 2025



特集 | アトピー性皮膚炎と誤診される皮膚疾患

- 総説1 急性湿疹・慢性湿疹とはいったい何?
- 総説2 結節性痒疹：オーバービュー
- 研究1 多形慢性痒疹患者の併存疾患についての検討
- 研究2 日本人酒皸症例に関する予後解析



<https://www.kk-kyowa.co.jp/hs.html>

PRACTICAL DERMATOLOGY

研究 2

治療開始後 1 年以上経過を観察した日本人酒皰症例に関する予後解析

Analysis of Japanese cases of rosacea observed for over one year after initiation of treatment

相原 良子* 延山 嘉真**

Key words 酒皰, 長期経過, 日本人, 保険適用

ポイント

- 酒皰に罹患した日本人症例に対する治療介入後、半年以上の経過についてのエビデンスは乏しい。
- 本研究では、酒皰を有する日本人症例を対象として、単施設において同一の地理的・気候的要件下で治療開始後の酒皰の経過を通年性に観察した。
- 本研究により、本邦保険適用外用薬を中心とした治療を 1 年程度継続することにより、日本人酒皰患者においても、痒痒、過敏、および紅斑・丘疹・膿疱は時間経過とともに改善が見込めることが判明した。

はじめに

酒皰は顔面中央（頬部、鼻、前額部）の炎症性皮膚病変を特徴とする慢性疾患である^{1,2)}。近年、外用、内服、レーザーなどによる治療の選択肢が増えている。その中で、外用療法は重篤な副作用のリスクや治療コストが比較的低く抑えられる利点がある。本邦では長らく、イオウカンフル（1 mL 中イオウ 60 mg, dL-カンフル 5 mg 含有：イオウカンフルローション[®]）が酒皰に対して保険適用を有する唯一の外用薬剤であった。しかし、2022 年 5 月になり、0.75% メトロニダゾール外用薬（ロゼックス[®]ジェル）が酒皰に対する 2 番目の外用薬剤として保険収載された。それに先立ち、日本人を対象とした 0.75% メトロニダゾールゲルを用いたランダム化比較試験が実施された³⁾。18 歳以上の炎症性皮疹（丘疹、膿疱）および紅斑を有する中等度以上

（investigator global assessment [IGA] スコア 3 以上）の丘疹・膿疱型の酒皰症例 130 例を対象とし、0.75% メトロニダゾール（n=65）とプラセボ（n=65）からなる外用薬を 1 日 2 回、12 週継続して使用した結果、炎症性皮疹数が 50% 超減少し、かつ、少なくとも 4 段階評価において 1 段階以上の紅斑の改善がみられた症例の割合は、0.75% メトロニダゾール群で 72.3%（47/65）、プラセボ群で 36.9%（24/65）であった。これにより、日本人における 0.75% メトロニダゾール外用薬の臨床的効果が証明された。一方、同試験では 12 週までの評価にとどまり、それ以降のデータは存在しない。

実臨床におけるデータも 2023 年に報告された。われわれは酒皰 47 症例について、イオウカンフル外用群 22 例（紅斑毛細血管拡張型 10 例と丘疹・膿疱型 12 例）および 0.75% メトロニダゾール外用群 25 例（紅斑毛細血管拡張型 12 例と丘疹・膿疱型 13

* Aihara, Yoshiko あい皮膚科クリニック（〒321-0944 宇都宮市東峰町 3040）
Ai Dermatology Clinic

** Nobeyama, Yoshimasa（教授）東京慈恵会医科大学皮膚科学講座（〒105-8461 港区西新橋 3-25-8）
Department of Dermatology, Jikei University School of Medicine